

平成27年度

事業報告書

近年、被爆者の減少、高齢化などにより、被爆者が健康診断を受診する件数は次第に減少してきており、本協議会を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増してきている。

こうした状況下、平成27年度は被爆後70年の節目を迎えた年度でもあり、本協議会の設立の趣旨並びに「公益財団法人」としての理念を踏まえ、公益目的事業である「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」、「被爆者の援護福祉事業」を引き続き事業の柱として実施した。

また、予防医学の観点から、公益目的事業である「市民の健康診断・健康管理事業」並びに収益事業である「検査診療及び人間ドック健診事業」等を、これまで以上に積極的に推進していくとともに、広島市の指定管理者として、「広島市健康づくりセンターの管理運営事業」である健康教育事業・子育て支援事業を実施した。

これらの事業の遂行にあたっては、職員の資質の向上を図るとともに、平成26年度に導入した新総合健診システムを円滑に運用することにより、受診者をはじめ利用者へのサービス改善と向上を図り、健診・検査業務のさらなる改善と充実に取組んだ。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益目的事業1）

（1）健康診断の実施

被爆者の高齢化が進むなか、健康診断体制の整備充実に努め、関係当局と連携のうへ健康管理の一層の充実に努めた。

- ① 被爆者が受診しやすいようにするため、地域特性や交通機関の状況等を総合的に検討し、適正な健診日数及び健診会場の確保に努めるとともに、最寄りのバス停から会場までの送迎などを実施し、人にやさしい受診環境の向上に努めた。
- ② 被爆者の受診機会を増やすため、広島市健康づくりセンターにおいては、第2・第4・第5の土曜健診と、第1・第3の日曜健診で胃がん・肺がん検診を実施した。さらに第3の日曜健診で乳がん検診・子宮がん検診を実施した。
- ③ 関係当局と連携して各種広報による啓発活動を積極的に行い、被爆者の健康診断の受診を促進した。
- ④ 被爆者二世の健康診断を実施するとともに、その受診率の向上に努めた。

(2) 健康診断の実績

(単位：件・人・%)

区 分		目 標 (A)	実 施 数 (B)	目 標 達 成 率 B/A×100
被 爆 者	一 般 検 査	17,600	17,698	100.6
	精 密 検 査	18,600	18,759	100.9
	胃 が ん 検 診	2,800	2,317	82.8
	肺 が ん 検 診	9,800	9,681	98.8
	乳 が ん 検 診	2,100	1,993	94.9
	子 宮 が ん 検 診	1,600	1,567	97.9
	多 発 性 骨 髄 腫 検 診	12,200	12,401	101.6
	大 腸 が ん 検 診	7,500	7,025	93.7
	骨 粗 鬆 症 検 診	4,400	4,543	103.3
	被爆二世健康診断(※1)	2,500	2,452	98.1

(※1) 被爆二世健康診断は受診者数で表示している。

(3) 健康管理の推進

被爆者がん検診を積極的に推進するとともに、被爆者の高齢化に伴う諸状況を考慮し、特に次の事項に重点をおいて被爆者の健康管理に取り組んだ。

① 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・肝臓がん・甲状腺がん・乳がん・子宮がん・白血病・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

② 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行った。

(4) 健康診断医療機器等の整備

① 乳房用X線撮影装置の更新

アナログ式乳房用X線撮影装置を、デジタル式乳房用X線撮影装置に更新した。

② 上部消化管汎用ビデオスコープの増設

上部消化管汎用ビデオスコープ(経口タイプ)一式を増設し、検査の効率化を図った。

(5) 被爆者健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料（カルテ・心電図所見等）を整理し保存するとともに、これら健康診断の実績、結果等について諸統計を作成し、調査研究資料として整備した。

(6) 黒い雨体験者相談・支援事業の補助

広島県、広島市が国からの受託事業として実施する黒い雨体験者に対する医師、臨床心理士、保健師による相談・支援事業について、医師等の派遣調整、相談会の日程調整及び会場の確保、会議録の作成、本人情報や相談記録等のデータベース化などの業務を実施した。

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益目的事業1）

(1) 調査研究の継続実施

継続して下記の調査研究を行い、その成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表した。

① 「被爆者がん検診の意義に関する研究」

本協議会での被爆者がん検診において、がん検診の意義・より効率的な検診のあり方・精度管理について、広島大学原爆放射線医科学研究所の疫学部門との協力、広島県腫瘍登録データの活用等により調査・研究を行った。

② 「被曝と悪性腫瘍発生に関する研究」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院、同原爆放射線医科学研究所及び(公財)放射線影響研究所との共同研究によって被曝線量の推定を行うとともに、各種のがん発生率と被曝の関連を検討した。

③ 「被爆者の糖代謝に関する研究」

被爆者における糖代謝について検討し、糖尿病発症の予防の方策を検討した。

④ 「胃がん、肺がんに関する研究」

被爆者について胃がん、肺がんの発生状況を調査研究し、その予防に努めた。

⑤ 「加齢に関する研究」

虚血性心疾患、脳血管障害、骨粗鬆症、認知症等の加齢関連疾患や病態について検討するとともに、各種の関連要因（血圧・コレステロール・喫煙・栄養状況等）や被曝状況との関連を検討した。

⑥ 「睡眠の量及び質と各種疾患についての横断並びに縦断調査」

睡眠の量や質と、高血圧、糖尿病、不整脈等の心疾患や脳血管障害などとの関連及びその予後への影響について検討した。

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集、整理保管し、その活用を図った。

(3) 原子爆弾後障害研究会の開催

平成 27 年 6 月 7 日、広島国際会議場で開催された「第 56 回原子爆弾後障害研究会」において、特別講演、シンポジウムのほか、一般演題 30 題が発表され、本会関係者は、シンポジウム 1 題、一般演題 1 題を発表した。

◎ シンポジウム

「被爆者によりそう健康管理をめざして」 — 藤原佐枝子

◎ 一般演題

「原爆被爆者の大腸腫瘍発見向上の試み
— 大腸内視鏡と CT Colonography 併用の有用性 — 」
— 川西昌弘 ほか

3 被爆者の援護福祉事業 (公益目的事業 2)

(1) 被爆者相談の実施

被爆者の生活、健康及び医療についての相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援助を行った。

区 分	件数(件)
生活・福祉相談	54
健康・医療相談	76
原爆関係諸制度	107
被爆者の子の相談	66
その他	34
計	337

(2) 援護措置の実施

国・広島県・広島市の行政施策を補完し、「原爆被爆者援護規程」に基づいて必要な援護を行い、被爆者の福祉増進に努めた。

援護措置区分	件数(件)	金額(円)
生活困窮者援護金	0	0
被爆身障者等見舞金	14	130,000
福祉用具利用補助	221	2,194,000
計	235	2,324,000

4 市民の健康診断・健康管理事業（公益目的事業1）

(1) 高齢者医療確保法に基づく健康診査等の実施

高齢者医療確保法に基づく特定健康診査を、広島市からの委託を受けて、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施した。

市民が受診しやすいように、地域特性や交通機関の状況等を勘案し、健診日数及び健診会場の適正化を図った。

また、健診結果から生活習慣病のリスクの高さに応じて受診者を階層化し、特定保健指導を実施した。

特に、本年度は特定健康診査を受診した日に特定保健指導を受けられるよう環境整備を行い、対象者に積極的な勧奨を行うことにより、生活習慣の改善のための自主的な取り組みを推進した。

(単位：件・%)

区 分	目 標 (A)	実 施 数 (B)	目 標 達 成 率 B/A×100
特定健康診査(※1)	13,650	14,408	105.6
特定保健指導(※2)	320	516	161.3

(※1) 特定健康診査には医療保険未加入者の健康診査を含めている。

(※2) 特定保健指導は動機付け支援と積極的支援の合計を表示している。

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

健康増進法に基づく種々のがん検診等を、広島市からの委託を受けて、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、市民の健康保持に努めた。

- ① 出張健診において、市民の利便性を考慮し、5つのがん検診と特定健診等を同時に受診できる機会を昨年度より増加させた。
- ② 市民の受診機会を多くするため、広島市健康づくりセンターでの健診において、第2・第4・第5土曜健診、第1・第3日曜健診で胃がん・肺がん検診を実施した。また、第3日曜健診では、乳がん・子宮頸がん検診を実施した。

- ③ 女性特有のがん検診、働く世代への大腸がん検診の推進事業として、広島市が発行する無料クーポン券を利用した乳がん検診・子宮頸がん検診・大腸がん検診を実施した。

(単位：件・%)

区 分	目 標 (A)	実 施 数 (B)	目標達成率 B/A×100
胃がん検診	16,700	15,830	94.8
肺がん検診	22,900	23,409	102.2
乳がん検診(※1)	9,900	9,698	98.0
子宮頸がん検診(※1)	8,200	7,475	91.2
大腸がん検診(※2)	17,900	19,695	110.0
骨粗鬆症検診	2,200	3,009	136.8
肝炎ウィルス検査	7,100	9,705	136.7

(※1) 女性特有のがん検診推進事業の実施数(再掲)

乳がん検診 1,344人、子宮頸がん検診 313人

(※2) 大腸がん検診推進事業の実施数(再掲)

大腸がん検診 1,978人

(3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

感染症法に基づく結核健康診断を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、市民の健康管理の推進を図った。

実施件数 13,924件 (目標：13,800件、目標達成率：100.9%)

(4) 後期高齢者に対する健康診査の実施

75歳以上の後期高齢者に対する健康診査を、広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施し、市民の健康維持に努めた。

実施件数 3,715件 (目標：3,800件、目標達成率：97.8%)

(5) 健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ・検査所見等)を整理・保管するとともに、将来の活用に向けた備えを行った。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業 (公益目的事業3)

広島市から指定管理者の指定を受け、広島市健康づくりセンターの施設の維持管理を行うとともに、健康科学館において、健康教育事業並びに子育て支援事業を実施した。

(1) 健康教育事業

市民の健康に対する関心の高まり、多様化するニーズに対応できるよう、健康に関する最新情報を分かりやすく正確に提供するとともに、積極的に教育研修等を実施し、日常における健康管理について正しい知識の普及を図った。

健康科学館 開館日数 293 日、入館者数 50,978 人（目標：49,900 人）

① 健康科学展示施設の運営

- ・ 企画展開催 年 4 回
- ・ 眠り上手でいきいきライフ 86 日間 観覧者 7,275 人
- ・ 健康人生ゲーム 82 日間 観覧者 10,416 人
- ・ ふしぎな免疫の世界 98 日間 観覧者 7,444 人
- ・ 楽しく脳活生活 16 日間 観覧者 1,049 人
- ・ パネル展 年 12 回

② 健康ライブラリーの運営

- ・ 図書及びビデオを利用した学習の場を提供した。
- ・ インターネットによる健康情報を提供した。

③ 健康に関する教育研修の実施

- ・ 主催による研修会・イベント 年 46 回 参加者 2,418 人
- ・ 他の関係機関との共催による研修会 年 26 回 参加者 1,278 人

④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成

- ・ ボランティア養成講座（6 課程） 年 1 回
- ・ ボランティア育成講座 年 5 回
- ・ ボランティアの活動 年 414 回

(2) 子育て支援事業

① ファミリー・サポート・センター事業

会員同士の子育てに関する相互援助活動を行うことにより、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図った。

- ・ 会員の募集・登録など会員組織の管理運営 会員数 3,956 人
- ・ 援助活動の調整 マッチング件数 1,152 件
- ・ 提供会員講習会（援助活動に必要な知識の普及） 年 2 回
- ・ 会員同士の交流会 年 3 回（区 2 回、全体 1 回）
- ・ 会員講習会 年 10 回
- ・ 機関誌の発行 年 1 回

② つどいの広場事業

子育て家庭の親と子供が気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

利用者数 23,755人 (大人 11,860人 幼児 11,895人)

- ・ 常設のつどいの場の提供
- ・ 子育てに関する相談援助
- ・ 子育て関連情報の提供
- ・ 子育て等に関する講習会の開催 年 20回

③ パパとママの育児教室の開催

夫婦が協力して子育てを行うために育児教室を開催し、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図った。

- ・ パパとママの育児教室の実施 年 34回 参加者 2,050人

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業 (収益事業)

(1) 検査診療事業

被爆者や市民の健診の結果、悪性疾患等が疑われた場合には、確定診断や病期判定のために詳細な検査 (CT・MRI・内視鏡・超音波検査等) を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進めた。

また、広島市医師会からの依頼による生体検査 (CT・MRI・内視鏡検査等) を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進した。

(2) 人間ドック健診等の事業

- ① 事業所や個人からの依頼による人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診を実施した。健診結果に基づいて生活習慣の見直しを指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病の早期発見・早期治療ができるように健診活動を行った。

(単位：件・%)

区分	目標 (A)	実施数 (B)	目標達成率 B/A×100
人間ドック健診	1,670	1,821	109.0
生活習慣病予防健診 (協会けんぽ)	2,940	2,990	101.7
事業所健診	3,470	3,369	97.1
計	8,080	8,180	101.2

- ② 管理栄養士・健康運動指導士が、受診者一人ひとりに適した運動・栄養について指導・助言を行い、市民の健康の維持・増進を図った。

(単位：件・%)

区 分	目標 (A)	実施数 (B)	目標達成率 B/A×100
栄養サポート 運動サポート	875	464	53.0
健康サポート	100	50	50.0
健康教室	240	25	10.4
ストレッチ教室	2,880	78	2.7

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

(1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝治療に役立てるために発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)」の主要推進団体として、外国からの研修生の受け入れなど、事業の推進に協力した。

(2) 来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被曝者が来日の際、健康診断及び医療相談を実施するとともに、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談にも応じるなど、引き続き在外被曝者への支援を行った。

8 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

健康診断受診状況一覧

1. 被爆者の健康診断

(単位：件・人)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (A)	平成27年度 (B)	対前年度比 (B) / (A) ×100
一 般 検 査	25,619	23,952	22,339	21,056	18,760	17,698	94.3%
精 密 検 査	27,113	25,202	23,314	21,899	19,437	18,759	96.5%
胃 が ん 検 診	4,514	4,133	3,891	3,392	2,881	2,317	80.4%
肺 が ん 検 診	11,708	11,159	10,438	11,311	10,279	9,681	94.2%
乳 が ん 検 診	2,686	2,536	2,527	2,300	2,098	1,993	95.0%
子 宮 が ん 検 診	2,260	2,040	2,032	1,870	1,696	1,567	92.4%
多 発 性 骨 髄 腫 検 診	17,352	16,376	15,311	14,468	13,120	12,401	94.5%
大 腸 が ん 検 診	9,639	9,766	9,331	8,570	7,577	7,025	92.7%
骨 粗 鬆 症 検 診	5,623	5,306	5,132	4,984	4,547	4,543	99.9%
被爆二世健康診断(注1)	2,486	2,347	2,527	2,435	2,489	2,452	98.5%
計	109,000	102,817	96,842	92,285	82,884	78,436	94.6%

(注1)被爆二世健康診断は受診者数で、その他の区分は実施件数で表示している。

2. 市民の健康診断

(単位：件)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (A)	平成27年度 (B)	対前年度比 (B) / (A) ×100
特 定 健 康 診 査 (注1)	11,556	11,718	13,268	14,004	14,597	14,408	98.7%
特 定 保 健 指 導 (注2)	39	37	32	28	16	516	—
胃 が ん 検 診	17,153	16,477	17,033	16,240	15,887	15,830	99.6%
肺 が ん 検 診	18,905	19,080	20,276	20,499	23,965	23,409	97.7%
乳 が ん 検 診	10,027	10,636	10,604	10,758	8,816	9,698	110.0%
子 宮 頸 が ん 検 診	9,793	10,025	9,724	9,714	7,073	7,475	105.7%
大 腸 が ん 検 診	10,087	14,325	15,461	14,230	18,822	19,695	104.6%
骨 粗 鬆 症 検 診	2,072	2,147	3,090	2,857	3,346	3,009	89.9%
C型B型肝炎ウイルス検査	107	111	411	11,885	9,974	9,705	97.3%
結 核 定 期 健 診	11,387	11,174	12,114	12,736	14,117	13,924	98.6%
後 期 高 齢 者 健 康 診 査	2,645	2,879	3,017	3,130	3,599	3,715	103.2%
計 (注3)	93,771	98,609	105,030	116,081	120,212	121,384	—
					(120,196)	(120,868)	(100.6)%

(注1) 特定健康診査には医療保険未加入者の健康診査を含めている。

(注2) 特定保健指導は、平成26年度までは積極的支援の件数のみ表示していたが、平成27年度より動機付け支援と積極的支援の合計件数を表示している。

(注3) 計の()内数値は、全体の計から特定保健指導の件数を控除した数値を表示している。